



# 公民館報 こもろ

No.887

令和6年 1月号

発行 / 小諸市公民館  
編集 / 館報編集委員会  
〒 384-0801 長野県小諸市甲 1275-2  
TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224

## 「出張！なんでも鑑定団in小諸」開催 !!

11月23日（木・祝）勤労感謝の日に「出張！なんでも鑑定団in小諸」が開催され、応募者92名の中から選ばれた5名の方のお宝が、テレビでおなじみの鑑定士3人により鑑定されました。司会の原口あきまさ氏と依頼人によるお宝にまつわるエピソードをめぐっての掛け合いで、会場は大変盛り上がりました。放送日は、テレビ東京は1月23日（火）、テレビ信州では4月頃の予定です。驚きの鑑定結果も出ましたので、ぜひご覧ください。



### ◆内容

- p.18 新年のご挨拶  
p.19 「みんなの宝物」(彌美登里神社例大祭)ほか  
p.20 「ぼくとわたしの作品」(小諸養護学校)
- p.21 新企画「まなびや」(学校の記憶～坂の上小学校編～)  
p.22 「今 支館・分館では」  
～23 (小原分館 / 糀地分館 / 東小諸分館) ほか



カラー版はこちら



新しい年が始まりました。

町の中はお正月の飾りで華やいでいます。私の住んでいる地域には鹿島神社と健速神社の2つの神社があります。鹿島神社は、かつては小諸駅から少し登った町の中にありました。小高い丘の様な所で、子どもの頃はそこで近所の子ども達と集まって遊んだ思い出があります。小諸駅ができたことで現在の場所に移転となりました。昔の神社があった場所は、現在、鹿島町という商店街になっています。神社があつた名残りの名前が付いているのだと思います。11月にはお祭りもあり、大勢の人で賑わいました。健速神社は夏の神輿で知られています。地域の中には、健速神社と鹿島神社の両方に初詣に行く熱心な方々もいます。

お正月の華やいだ気分ですが、昨年を思ふと猛暑に台風、また新たな戦争も始まり大変な年でした。今年は平和で災害の少ない穏やかな一年になることを切に願うばかりです。

編集委員

大塚  
かほる

# 新年好

「新春を迎えて」  
小諸市教育長 山下 千鶴子



がとうございました。  
新年あけましておめでとう  
ございます。

講義が印象に残りましたし、  
市内中学校で開催の音楽祭で  
も多感な少年たちが未来への  
希望や心構えに加えて、世界  
平和を希求する曲を選定し歌  
声に乗せていました。私も心に重  
く響きました。

そんな中、公民館まつり「ワ  
クワク筆文字」コーナーで目  
に留まった言葉に勇気をいた  
だきました。今を精いっぱい  
生きることが大事ととらえま  
した。



筆文字は両角久美子先生の書

がとうございました。  
した。コロナ五  
類移行により  
世間との交流が  
緩和されほっと  
したところです  
が、世界を見る  
とあちらこちら  
で戦火が絶えま  
せん。7月から始  
まった「小諸市  
民大学」は戦争  
をテーマにした

くの課題が提示されます。最  
後に本講座講師は語りかけま  
す。「人類の存続、安心した  
生活を保障していくのは君た  
ちの世代である」と。本講座  
は今年も開設の予定。中学生  
諸君、夏休みの3日間、科学  
と出会ってみませんか?。

感染法上の分類が緩和され、  
徐々にコロナ禍以前の日常が  
戻ってきました。公民館の  
集う・学ぶ・結ぶという役割  
が果たされるようになり大変  
嬉しく思っております。

さて、昨年9月、関東甲  
信越静公民館研究大会が  
長野市で開催され、その  
記念講演で平昌オリン  
ピック金メダリストの  
小平奈緒さんのお話

さて、小諸市内両中学校の  
生徒が受講したサマー・サイ  
エンス・スクールを紹介しま  
す。名前の通り、最先端の科  
学にふれ、科学の面白さや不  
思議さ、楽しさを味わう三日  
間の講座開設でした。その中  
の一つ「ゾウの時間・ネズミ  
の時間・私たちの時間」はな  
かなか興味深いものでした。  
ゾウとネズミの寿命とエネル  
ギー量（仕事量）を比較する  
ことから講義は始まります。  
次は、車やコンピュータで  
加速された現代の「時間」環  
境に生きる人間に焦点が当た  
ります。技術革新は私たちに  
便利さと効率的な生き方を与  
えてくれます。反面、膨大な  
エネルギー消費や昼夜を分か  
たずの長時間労働・・・と多

新年あけましておめでとう  
ございます。  
市民の皆様には、希望に満  
ちた新春をお迎えのこととお  
慶び申し上げます。旧年中は、  
公民館をはじめ文化会館・こ  
もる女性の家等文化センター  
の諸事業に対しご支援、ご協  
力を賜り心より感謝申し上げ  
ます。

を得ました。「人とつながる」  
というテーマのもと、スケー  
トを通してつながった多くの  
人の出会いと、その関わり  
を通して学び、成長した経験  
について語られました。「人  
は人に依つて賢し」のことわ  
ざを思い浮かべながらお聴き  
しました。



「人とつながる」

小諸市公民館長

土屋 明美

というテーマのもと、スケー  
トを通してつながった多くの  
人の出会いと、その関わり  
を通して学び、成長した経験  
について語られました。「人  
は人に依つて賢し」のことわ  
ざを思い浮かべながらお聴き  
しました。

小諸市耳取区は、江戸時代火縄銃製造の地でした。丸山氏、吉澤氏が銃工の頭で江戸幕府や小諸藩へ銃を納めていました。彌美登里神社境内は角場（射撃場）で、小諸藩主を招いて火薬の実験をした場所でした。神社拝殿に掲げられる明治4年の絵馬（69名による射撃の金的奉納額）は県下に類がなく貴重な文化財で、小諸ふるさと遺産になりました。

そうした歴史ある彌美登里



『彌美登里神社例大祭』  
(耳取区)

# みんなの宝物



次に早打ち、2人が交互に発射、続いて大筒抱放、重さ25kgの大きな火縄銃の発射です。轟く発射音に境内から拍手が印象的でした。

始めに礼射、正座した状態からの発射、境内に大きな破裂音が響き渡り「わあー」と声が上がりました。発射の後後の礼を尽くした美しい所作が印象的でした。



『彌美登里神社で開催された砲術演武について』

松本市で江戸期からの「松本藩森重流砲術」が伝承されていますが、保存会の代表者である市川氏より平成28年に砲術の演武を披露したいとの申し入れがあつた。

市川氏はそこで使用している火縄銃の所有者でもあり、その物であるとのことであつた。江戸時代には、旧耳取村から江戸幕府や小諸藩に銃が納められており、彌美登里神社は射撃場として使われ、拝殿に掲げられた絵馬（射撃の金的奉納額）は貴重な文化財となつていています。

古式砲術の奉納は、平成28年に第1回が行われ、令和5年で5回目となつた。

（吉澤社夫氏より）



火縄銃  
奥 手前 丸山氏由来の銃  
手前 吉澤氏由来の銃

## 第59回児童生徒新年書初め展

市内に居住する児童生徒、市内の学校・書道塾へ通う児童生徒の新年への希望や決意を込めて書いた作品を展示します。

【開催日】 令和6年2月2日(金)～4日(日)

【時間】 9:00～17:00 (最終日は16:00まで)

【会場】 乙女湖体育館（小諸市文化センター内）



問 児童生徒新年書初め展事務局（小諸市文化センター内）☎ 0267-23-8880



# 小諸養護学校



「ぼくの作品たち」

中学部1年 柏木 瑛太

ぼくは、作品づくりが大好きです。夢中になっていると時間があつという間に過ぎていくので、不思議な感じです。ちぎり絵では、ちぎった紙が小さいときには、貼ろうとする場所とにらめっこです。画用紙にマジックや絵の具で絵を描くときは、腕を大きく動かして、思いっきり描いていきます。無地の画用紙に、線や模様が増えていったり、ぼくの好きな青や紫などの色が、画用紙一面に広がったりしていくのが楽しいです。

チャレンジタイムという授業では、布を使ってクリスマスリースやくるみボタンを作っています。クリスマスリースは、好きな柄の布を選んで、先生と一緒に土台に差し込み、リースを仕上げていきます。くるみボタンは、しっかりと型にはまるように力強く押し込むことがきれいにできるコツですが、ぼくは得意です。

完成したぼくの作品たちは、ぼくにとって大切なものです。ぼくは、これからもいろいろな作品たちを作りたいです。



「楽しかった宿泊学習」

中学部2年 小林 泰士

ぼくたちは5月に松代方面に宿泊学習に行きました。

1日目は、茶臼山動物園に行き、ライオンを見たり、大きな象を見たりして普段見られない動物たちを見て回ることができておもしろかったです。どの動物たちもかわいいかったので、画用紙に描けるだけ描きたいと思いました。

おやき作りも体験しました。初めてで、ちゃんとできるか不安でしたが、教えてくれるスタッフさんの話をよく聞いて生地を丸めたり、その生地で野沢菜とあんこを包んだりすることができました。自分で作ったおやきだったのでとても美味しかったです。

2日目は、「松代陶苑」で松代焼の茶碗作りをしました。初めてでしたが、スタッフさんの説明を聞きながら作

りました。焼きあがった茶碗が届きました。青く輝く良いものができるってきてとても嬉しかったです。

とても楽しくて思い出の残る宿泊学習でした。来年の修学旅行も楽しみです。



「まなびや」とは  
小諸市では学校再編計画が進行中で、小中一貫教育、小学校の統合など  
と教育のあり方が大きく変わろうとしています。公民館報編集委員会でも  
学校が出来た当時のこと、校名の由来など地元の人しか知らない話や、今  
とは違う学校の状況などを後世に残したいという話になり「まなびや」の  
コーナーを新設しました。

## 『学校の記憶』

～坂の上小学校編～

私は小学校5年生の時に、  
父の転勤で東京から小諸の実  
家に戻ってきました。いわゆ  
る「都会からの転校生」でした。

2学期からの転入でした  
が、白い靴下に新しい上履き  
を履いて5年3組のクラス  
に入ると、衝撃の光景と「都  
会っ子～!!」という歓迎のや  
うに迎えられました。皆、黒々  
と日に焼け、靴下など履いて  
おらず、しかも上履きすら履  
いていない!! それは廊下も  
トイレも学校内はもちろんの  
こと、校庭も裸足で走り回つ  
ていました。これが夏だけの

ことかと思つていたら、冬で  
も半そで半ズボン、しかも裸  
足の旧友も複数いました!!  
私の記憶違いかもしれない  
と思い、先日そ  
の記憶にある  
同級生を訪ね  
確認してみると、確かに同  
級生のN君は  
「俺は最後まで  
裸足を貰いた！」と胸を  
張つて教えて  
くれました。

このクラス  
では、毎朝学  
校の敷地の周  
りを走つて、  
その距離を模  
倣していました。  
私はこの校風というか、担任  
のT先生の教育方針が肌  
に合ったのか、すぐに溶け込  
み、調子に乗つて沢山のイタ  
ズラをし、今では言えないよ  
うな「愛のムチ」をたくさん  
いただきました。クラスごと  
に特徴があり、1組の先生は、  
黒板の横にぶら下げてある長  
い木の「物差し」を使って生  
徒指導をされる方で、私も一  
度ご指導いただいた記憶があ  
ります。



卒業記念のタイムカプセル  
は、今も低学年棟の庭のオブ  
ジェの下に埋まっています。  
校歌のこの学校は、大正15年  
に敷かれた「一校一部制」の  
内の「第二学校」のスタート  
を創立年としており、あと数  
年で100周年を迎えます。  
小中学校の再編統合の前に記  
念すべき周年行事ができるの  
を期待しますが、タイムカプ  
セルはその際に同級生と掘り  
起こしてみないと密かに思つ  
ています。

学校の沿革を少し紐解いて  
みると、昭和12年に「一校三  
部制」となり、「第一（高等  
科）・「第二（中学年）」・「第  
三（低学年）」に分かれ、昭  
和22年にそれぞれ「小諸中学  
校」・「坂の上小学校」・「野岸  
小学校」と命名されました。  
あいおい坂公園にある大きな  
石碑が「小諸中学校」跡であ  
ります。

（坂の上小学校昭和55年度卒）  
編集委員 楚山 伸二





『敬老会』

— 小原分館 —

4年ぶりに敬老会を開催し、7団体による日頃の練習の成果と心のこもった発表がありました。

まず、「交通安全協会小原支部」から、高齢者の交通安全のお話がありました。次は小諸市公民館まつりでも発表をした経験のある「アロハつばき」のフラダンスです。息のあつた妖艶な踊りに会場内は、魅了されました。次の「育成会」は、小学生の歌で和ませてくれました。「小諸消防音楽隊」は、大迫力の素晴らしい楽器演奏をしていました。



会場内は、魅了されました。次の「育成会」は、小学生の歌で和ませてくれました。「小諸消防音楽隊」は、大迫力の素晴らしい楽器演奏をしていました。

台風の被害やコロナ禍の影響で、2018年度を最後としていましたが、育成会、公民館、区の役員での協議の結果、松橋区長の「60年以上続く行事、何とか開催したい」という言葉もあり、登山ルート途中の「ねんぼう岩」までを往復するトレッキングでの



今  
支館・分館では

『夏の恒例登山』

— 糜地分館 —

糜地分館では、毎年夏の恒例行事として三方ヶ峰登山を開催しており、2014年度には60回目となりました。糜地公民館から、今では幻の登山道ともいえる深沢渓谷の4時間を超えるコースを登る登山組と、マイクロバスで向かう保護者や高齢者組が池の平駐車場で合流して、昼食やスケッチ大会なども行つてきました。



糜地分館では、毎年夏の恒例行事として三方ヶ峰登山を開催しており、2014年度には60回目となりました。糜地公民館から、今では幻の登山道ともいえる深沢渓谷の4時間を超えるコースを登る登山組と、マイクロバスで向かう保護者や高齢者組が池の平駐車場で合流して、昼食やスケッチ大会なども行つてきました。

模擬店では、焼き鳥・焼きそば・とん汁・おこわ・綿あめ。それから、ちょっと季節外れのかき氷、アルコール類やジュースなど、お祭りならではのグリメを販売しました。朝のうちは気温が低かったのに、天となり、気温も上がり、心配していた生ビールやかき氷もまた、新型コロナウイルスも第5類になり、平

『区民祭・文化展』

— 東小諸分館 —

## 第8回 小諸市文化会館自主事業 邦樂のつどいと 箏・尺八鑑賞会

入場料 1,000円(小中学生以下無料)全席自由チケット販売 小諸市文化センター/出演団体

【特別出演】紫綬褒章受章 山田流四代目家元 萩岡松韻  
琴古流尺八三代目 青木鈴慕

鈴木厚一/萩岡松樹/田中奈央一(勇希奈央人)/萩岡由子/青木滉一郎/堅田新十郎連中/松風光陽ほか  
【出 演】詩吟:浅間吟道会/茶道:裏千家流(小林社中、太田社中)/合唱:コール・フローラ小諸、小諸合唱団、合唱団小諸ハーモニー  
三曲:渡辺萩翠孝社中、青童会、小諸キッズ邦楽教室、東小ワクワク大夢おことクラブ  
舞踊:西川扇千草社中、西川扇乙洋社中、西川喜枝治社中



日時 令和6年1月14日 日

【開場】12:00 【開演】12:30

小諸市文化会館ホール

口ビーにて表千家友和会による呈茶(無料) 11:30 ~ 12:30

問 小諸市文化センター ☎ 0267-23-8880



ただきました。「アコースティックギターによる弾き語り」は、心に沁みました。「ユカレレ」はウクレレ演奏で、会場の皆さんと一緒に歌を歌いました。歌うことは脳トレにとても良いそうです。最後はお待ちかねの、「やよい座」の発表です。地元にまつわるシリオ作りから演出まで、全て自分達で手掛けた劇です。力いっぱいの演技で手拍子が鳴り止みませんでした。カーテンコールでは、フラダンスの踊りが披露され、幕引きとなりました。

やっと元の敬老会が戻ってきて、和やかな敬老会の1日となりました。招待された高齢者の皆さんもたいへん満足された様子でした。来年も、皆さんが元気で、敬老会に集ってくれることを願っています。

本館主事 中澤 栄二

糠地分館主事 稲所 康貴  
かつては地区の子どもだけで60人以上の参加があったと聞いていますが、5年ぶりの開催ということもあり子ども12名を含む保護者や役員35名の参加でした。



8月26日(土)の朝、深沢ダム上の駐車場を出発。びょうぶの様に見える切り立った岩壁が相対するびょうぶ岩を右側に見ながら、弁慶の茶釜が隠されているとの言い伝えがある、高さ約30メートル余の「捻棒」の形をした奇岩「ねんぼう岩」を目指しました。途中の水力発電を利用した公衆用トイレは発電施設が復旧できており、仮設トイレを軽トラックに載せて現地まで運びました。

今回のイベントでは、林野庁・中部森林管理局・東信森林管理署の方々より森林講習を実施していただきました。子ども達に向けたイベントではありました。子ども達に向けたイベントではありますましたが、ドローンによる「ねんぼう岩」の上部や、上空からの小諸の街が車後部に乗せた大きなモニターに投影されると、大人たちも食い入るように観て楽しんでいました。

今後は、さらに地区の子どもの人数が減っていくことも懸念されますが、時代に沿ってルートや移動手段など、形は変われど地域のみんなの絆を強めるこの大事な夏の行事をみんなで守つていければいいなど感じながらの下山でした。

一方、文化展では子どもからお年寄りまで30人ほどの区民の皆さんから作品が寄せられました。日展にも入選された絵画100号の大作から、写真・手芸・木彫り・絵手紙・編み物・川柳などの芸術作品が多数出品され、多くの区民が出来映えに感心しながら鑑賞していました。

売り切れ続出の模擬店もあり、大盛況のうちに午後3時に終りました。区内の各種団体、公民館役員など多くの皆様のご協力で、楽しい笑顔溢れるイベントが開催できました。今後も、区民の親睦を深められるよう、工夫しながら開催していきたいと思います。

東小諸分館長 小林 勇市



主催 NHK 長野放送局・小諸市文化会館自主事業実行委員会

NHK-FM

## 「民謡をたずねて」 公開収録が行なわれます！

【日 時】令和6年3月9日 土 開演 13:30 (開場 13:00)  
【場 所】小諸市文化会館ホール  
【観 覧】無料ですが、事前の申し込みが必要です。

「民謡をたずねて」(NHK-FM)は、日本を代表する民謡歌手が、地元をはじめ全国各地の民謡の魅力をたっぷりと紹介する番組です。詳細は、公民館報こもろ2月号、NHK長野放送局のホームページをご覧ください。



小諸市文化センター

0267-23-8880

NHK 長野放送局 HP

各施設  
予約開始日

施設名	利用月	施設名	利用月	予約開始日
公民館・こもろ女性の家 (貸出備品含む)	R 6/ 3	乙女湖体育館	R 6/ 7	R 6/ 1/ 4(木)
		文化会館	R 7/ 1	

